

# FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース  
2025年4月23日

**アンドレア=ボナコルシ、わずかに表彰台に届かず。**



ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP はスイスで開催された MXGP でも手堅い結果を見せ、2台がトップ5に食い込んだ。アンドレア=ボナコルシは印象的な走りで総合4位を獲得、グレン=コルデンホフは総合5位に入賞したのである。ファンティック・ファクトリーレーシング EMX も同じく確実にポイントを獲得し、フランチェスコ=ベレイが EMX125 で5位に入賞した。

ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP はスイスで開催された MXGP 第 6 戦でフルメンバーが復活。ブライアン=ボガスは計時予選でいきなり 7 位に入り、復調ぶりを印象付けた。コース幅が狭いハードパックのトラックではスタートが肝心だ。土曜日の予選レース、アンドレア=ボナコルシが絶妙なスタートを決めて一気に 1 コーナーまでに 6 位にジャンプアップ。『ボナ』はレースを通じて力強い走りを魅せて、抜きどころの少ないコースで 4 位フィニッシュを決めたのである。

グレン=コルデンホフはこのオールド・スクール・スタイルのスイスのコースに手を焼いていた。それでも終盤には何とかリズムをつかんで 9 位。一方ボガスは中段に埋もれて抜け出せず、15 位となった。

イースター・サンデーのためすべてがお休みになっての翌日、すなわち月曜日がレース・デーになる異例な週末。アンドレア=ボナコルシはしかしモチベーションを途切らせることなくレースに臨んだ。スタートから見事な集中力でダッシュを決め、レースペースも力強くまた落ち着いていた。こうなると、ボナコルシは表彰台を争えるライダーとして注目されるべき存在になる。事実、レース 1 では見事に 4 位に入り、レース 2 でも 4 位を争っていた。しかし、クラッシュによって離されることになり、再び力強く追走しつつも 5 位まで順位を回復。残すところ 2 周、これで総合 3 位に入れるかというところで追い切れずポジションを落とし、同点の 3 位、順位で負けての総合 4 位となった。

グレン=コルデンホフはスタートで失敗。この狭く抜きどころのないトラックでは前に出ることは極めて困難だ。だが『ザ・ホフ』はその豊かな経験を存分に生かして前者を追い、ミスに負けることなくプッシュをつづけ、手堅く 10-6 位を納めての総合 5 位に入賞した。

2 台のファンティック XXF450 がトップ 5 に入賞した一方で、ブライアン=ボガスは不運なレース日となってしまった。スタートも思い通りとはいかず前を厳しく追う展開となった上、テクニカルトラブルでレースから身を引かざるを得なくなってしまったのである。

第 3 戦から 3 週連続のレースが続いていた MXGP はこれで 1 週間のインターバルを置くことになる。ファンティック・ファクトリーレーシング MXGP は次戦のポルトガル GP に向け、ランキング 4 位のコルデンホフと 7 位に上ってきたボナコルシを軸に、早くも準備を進めている。

**アンドレア=ボナコルシ**：総合 4 位、3 位とは同点。ちょっと複雑な気分だけど、いい面に目を向けていくとするよ。まずはハードパックでの走りが向上したこと。特にスタートはよかったよね。チームには感謝しかないよ。特にこの 3 連戦、状況も大きく変わる中でマシンを手堅くセットアップしてくれて、おかげで僕はここ、スイスではこれまでとは比較にならないくらい快適に XXF450 と対話が楽しめるようになったからね。だから、まあまた 4 位だったっていう結果こそ望んだものではなかったけれど、こうした進化は素直に喜ぶべきだろうね。2 週間後のポルトガルではさらに上を目指していくさ。





### グレン=コルデンホフ：

厳しい週末だった。今一つ乗れていなかったし、スタートはそのせいもあってダメだったね。レース2では多少ましになってはいたけれど、逆にリズムに乗れなくてレース序盤で何台かに抜かれてしまったんだ。コースの整地状況がよなくて、まあでもそんな中でも総合では5位に入ることができた。僕自身としてはこうしたコースでも実力を発揮できるようにもうちょっと練習する必要があると感じているし、この2週間でもうちょっとタフさを身に着けていこうと思っている。次のポルトガルはお気に入りのコースの一つだから、楽しみなんだ。

### ブライアン=ボガース：

体力的には、毎セッションごとにどんどん調子がよくなっていく感じの週末だったよ。何しろ最初の練習走行では10分走ったらぐったり、って感じだったからね。今は30分のレースを走り切れるくらいに回復している感じなんだ。スピードも、特にフリー走行や計時予選では悪くなかったと思うよ。あとはこうしたいところを全部レースにまとめ上げることができれば、だね。いろいろうまくいってない時には難しいもんだから、とにかくいいレースを何回かやって結果を出して自信を取り戻すことが大事なんだ。でも、僕はメンタルは強い方だし、このチームで走れて本当にハッピーなんだよ。チームが僕を助けようとしてくれていることを日々感じながら走らせてもらっているから、何とかモノにしたいよね。



## ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

イタリア・アルコ=ディ・トレントで EMX250 クラス初優勝を飾ったシモーネ=マンチーニ。スイスでもそのスピードと実力を見せつけるべく、レースに臨んだ。レース1ではオープニングラップで5位を走行、厳しいコースコンディションに悩まされながらも、リズムをつかんだ後半は安定して速さを発揮して4位に食い込んだ。

マンチーニはレース2はさらに自信を持って臨んだが、残念ながら全くと言っていいほど思った通りに事が進まず、リズムも崩れるばかりで最終的に11位になるのがやっとな。総合でも7位という結果に甘んじることになってしまった。

EMX125では、フランチェスコ=ベレイが駆るファンティック XX125の圧倒的なスピードに疑義を呈するものはいないほどだった。エントラント最年少の彼はそんなところはみじんも感じさせない走りで予選グループ2位。スタートでミスしてトップ10圏外からの追い上げになったが、わずか2週間後には5位まで駆け上った。続いて4位を狙うところでしかし激しくクラッシュ、大きく順位を落としてしまう。16歳の若さからか、その後も前を追いつながらのミスが続き、チェッカー時点では12位まで戻るのがやっとなだった。到底納得できる結果とはいえない。

ベレイは月曜日、真の戦士としてグリッドについた。日曜日、自転車での練習中にクラッシュして頭と鼻に怪我を負っていたものの、レース2ではみじんも感じさせないパフォーマンスを発揮して激しく追走して2位に入賞、総合でも5位に食い込んだのだ。チャンピオンシップでも総合2番手についている。

チームメイトのドウエ=ファン・メクゲレンにとってはさらに厳しい週末となった。レース1では1コーナーの混乱に巻き込まれ、何とかレースに戻ったものの、25位になるのがやっとだったのである。クラッシュは肩の痛みを引き起こし、レース2にも大きく影響してしまう。結局ポイントも取れない21位でレースを終えることになってしまったのである。

### フランチェスコ=ベレイ：

まあ総合的に見ればそれほど悪かったとも言えないかな。もっとダメになっている可能性もあったからね。日曜日の自転車でのクラッシュはホント酷かったんだよ。でもレース2で2位に入れたのはよかったと思うね。レース1でのミスは本当に情けないけれど。。。でもこの2週間で体も直して、ポルトガルに向かうよ。



### シモーネ=マンチーニ：

土曜日に4位でレースを終えた時はいい感じだったんだ。でも月曜日、まったくリズムがつかめないままで、全然思い通りにならなかった。まあ何とか総合7位には入ったわけだけど、誰も満足してはいないし、前に向かって進まなきゃと思っているよ。一步一步進めていくためにも、チームの協力が欠かせないし、今のサポート体制には本当に満足しているんだ。



FANTIC FACTORY RACING MXGP



FANTIC FACTORY RACING EMX

